

# NEW ヒライ信



VOL.2  
NO. 99  
(第199号)



がくしゅう 楽習塾 塾長 平井 幸雄

hiraisin@par.odn.ne.jp

## 数の数え方の符丁（符牒）

日本では古くから商取引の際、特定の仲間内だけに通用する「暗号・隠語」を用いることが多い。迅速に処理する、秘密保持の必要性から生まれたもので、職業によってその業界独特の「符丁」がある。同じ音や聞き違いしそうな似かよった音の重複は避けて、一から九または十にあてはめている。縁起をかつぐ文句、いろは歌からとった文句、数え歌からとったもの、紋所や物の形・数字の形からとったもの、あるいは全く意味や起源（語源）のわからないものなどがあるが、日本語の持つ一種の遊び心「洒落言葉」を見ることができる。

「ヒライ信」が200号まであと1号に迫った。1号から数えて199号まで符牒でいうと・・・？

数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
読み	ひ	ふ	み	よ	い(つ)	む	な(な)	や	この	と(う)
漢字	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
	壹	貳	参	肆	伍	陸	漆	捌	玖	拾
	丁不句	示不小	王不直	罪不非	吾不口	交不义	皂不白	分不刀	丸不点	針不金
	『塵劫記』（1627年・吉田光由著）に、書物の改竄を防ごうとしたもので、代字・大字などと呼ばれる。									
桂林漫録	旦底	断工	横川	側目	献齒丑	撒大	毛根	入開	未丸	田心
僧侶 (字謎)	だいむじん 大無人	てんむじん 天無人	おうむちゆう 王無中	さいむ ひ 罪無非	こむこう 吾無口	こうむじん 交無人	せつむとう 切無刀	ぶんむとう 分無刀	がんむてん 丸無ト	せんむてん 千無ノ
			おうむぼう 王無棒	ちむちよく 置無直		りつむいち 立無一		かまむきん 釜無金	きゅうむちよう 鳩無鳥	しんむきん 針無金
川魚・鰻・鶏・卵商 (千横系)	千(せん)	里(り)	川	月	丁(長)	天(てん)	カ	ツ	丸(〇)	
画数符牒 干魚商	ちょう 丁	にんべん イ	うろこ △	ぬげた #	みんじ メ	ぼう 	な ナ	はん ハ	きう 久	
宿屋	しよん しよこ 一本線の しを横に してみる	いよん りよこ リ(い) の字を横 にしたも の	かわよん かわよこ 川を横に したもの	つきよん つきよこ 月を横に すると匹 のよう	まんぼう 万の字の 下に横棒 (一)を引 くと五に なる	てんぼう てんほし 三点.の 間に一を ひくと六 になる	はがよん はがよこ	はとむかい むかえ	うらさ さを左か ら見ると 九に見える	
馬子 駕籠屋	ソク ゴロメク ヲフセ	リャンコ ジバ	ヤミ ウロコ ゲタ	ダリ スウ・リウ サヽキ	ムメ ゲンコ	イデ 小六	サイナン	坂東	キワ ガケ	ピン
中国	イー	アル	サン	スー	ウー	リュウ	チー	パー	チュー	シ
英語	ワン	ツー	スリー	フォー	ファイブ	シックス	セブン	エイト	ナイン	テン
2個単位 数える 数え歌	チュウ		チュウ		タコ		カイ		ナア	
	「ちゅうじ(重二)ちゅうじ(重二)たこ(蛸)の加え」が詠った									
	2		4		6		8		10	

アラビア数字の形を身近にあるものの形に見立てたもの

会社	いや	のん	みみ	ぬけ	てら	はな	かぎ	たこ	わらび	
商社	ぼお	のいち	る	はさみ ばこ	かお	はな	かぎ	ひょう たん	たかは り	
盗賊	すてつき	のん	みみ	け	せむし	しゃくし	かぎ	ひょお たん	しゃく	すてつき まんじゅう

質屋さんの符丁「あかきたなはまやらわ」たばこ商の「いろはにほへとちり」

文字の重複のない縁起のよい文句を使ったものもある。縁起というより、つい本音が・・・




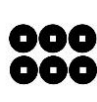















江戸時代の魚市場	さ	り	と	は	お	も	し	ろ	い	
秀吉が雑喉場を見物したとき「さりとは、おもしろい」と言った言葉に始まると伝えられている										
青物商	梅 桜 松 竹									
	ム	メ	サ	ク	ラ	マ	ツ	タ	ケ	
荒物商	鶴 亀 舞 び 遊 ば									
	つ	る	か	め	ま	ひ	あ	そ	ぶ	
タクシー	金 儲 け は こ れ で す									
	か	ね	も	う	け	は	こ	れ	で	す
花柳界	お 客 は 大 切									
	お	き	や	く	は	た	い	せ	つ	

数え歌系、漢字文句系

大黒符牌 呉服商	1に	2に	3に	4つ	5つ	6つ	7つ	8つ	9つ	10で
	俵をふん まえて	にっこり 笑わんす	酒を飲ま しゃんす	世の中良 いように	いつもの 如くにて	無病息才 (災)に	何事ない ように	屋敷を建 て広め	小蔵を建 てならべ	とっくり 治まった
	たわら 俵	わらい 笑	さけ 酒	なか 中	ごとくおなご 如女	さい 才	こと 事	しき 敷	くら 蔵	おさめ 治
漢字文句系 茶 商	の 野・ノ	わ 和・ハ	やま 山	れい 礼・シ	まる 丸・〇	ぼう 棒・ホ	きち 吉	め 目・メ	まおす 申・ア	

香具師 露店 夜店	やり はい ちぎ	ふり はら	ちか たいい	ため まや	しづか ちょはん	みづ	おき	あつた あつ	きわ がけ あぶない	ちぎ やり
寿司屋	ソク ピン	リャンコ	ゲタ	ダリ	メノジ	ロンジ	セナ	バンド	キワ	

落語、浄瑠璃、役者、寄席などの人達の楽屋言葉。紋所に基づいている

寄席	へい	びき	やま	ささき	片個	さなだ	たぬま	やはた	きわ	
	平		山							
	たいらで	丸に二引 きの紋	山は上へ 三本出る	佐々木 高綱の紋 四つ目	一個二個 と数えて 片方の手 で五個	真田の紋 六文銭	田沼様の 七曜の星	八幡	十のきわ 一から九 まで つたこえ	十から上 つはなれ
バー コード										
QR コード										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10